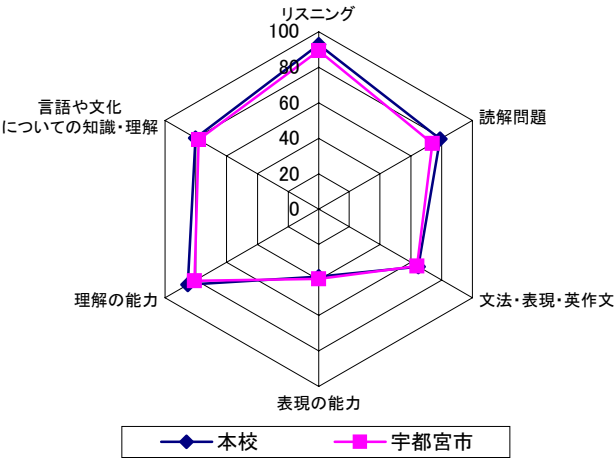


宇都宮市立上河内中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	92.7	89.3
	読解問題	79.0	73.9
	文法・表現・英作文	64.9	64.0
観点別	表現の能力	38.1	39.3
	理解の能力	85.2	80.9
	言語や文化についての知識・理解	80.2	78.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (92.7%)	市の平均を3.4ポイント上回ったのは、普段の授業でたくさんの英語に慣れ親しみ、要点を押さえて聞く訓練をする時間をとっているからであると思われる。また授業をすすめる手順においても英語で指示を出し、活動と英語を関連付けて理解できるようにになっている。結果として積極的に英語を聞こうとする態度が身に付いている。	今後も大事なことを落とさず、要点を捉えて聞く態度をさらに磨き、様々な場面に対応したリスニング力を付けさせたい。 また、聴くこと(リスニング)が話すこと(スピーキング)に大きく関連していることを踏まえ、多様な英語表現の引き出しを豊かにできるように努力したい。 そのためには普段の授業内容の提示時などにも多様な英語表現使用に配慮したい。
読解問題 (79.0%)	市の平均を5.1ポイント上回っている。授業では教科書の英文をていねいに読んで理解する(5W1H)基本的作業を重視している。この態度が習慣化され、色々な英文を読むときに役立っていると思われる。 また、英語特有の表現や意味のまとまり(センスグループ)に着目する習慣も定着している。以上のことから読解力が育成されている。	読解力を付けるには、まず最初に語彙力及び文型運用能力といった基本的学力をベースとしていることを踏まえ単語・文型テストを欠かさない。次に長い英文の段落(パラグラフ)ごとの話の展開に注意して要点をつかませるように段階を追って指導していきたい。普段から予習等で教科書本文をノートに書き写し、意味を考える習慣を付けさせたい。
文法・表現・英作文 (64.9%)	市の平均を若干上回ることができた。英語という言葉を理解するためには、その語順や表現に慣れることやそれらを用いて自分のことや身近なことを表現することが必要である。定期テストに必ずテーマに基づいた英作文を出題し、習慣化を図っている。 文法については重要事項をノートにまとめさせたり、多くの問題に取り組ませたりして理解を促している。	文法の理解には特有の語形変化や語順に注意して理解できるよう、導入の仕方や場面に特に配慮していく方針である。自信をもって文型運用できるよう繰り返し指導したり、意図的に使用場面を設定するなどの工夫を継続したい。 英作文の力を付けるためには、SVOC(主語 動詞 目的語 補語)等の語順に常に注意を払えるように配慮した英作文問題に取り組ませたい。また表現のサンプルを配布して英語で表現する楽しさを味わわせたい。